



TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2020年11月10日

タイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社における最新鋭の生産ラインへの更新による 生産能力増強について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：不死原正文 以下、当社）は、連結子会社であるタイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社（本社：フィリピン共和国セブ州、以下、TCPI 社）に最新鋭の生産ラインへの更新により生産能力を増強することを決定しました。

フィリピンでは好調な経済成長に伴う建設投資の増加等により、セメント需要は堅調に推移しております。2015年から2019年までの5年間で年間セメント需要は約30%増加し、3,200万トンに達したと推定されます。2020年のセメント需要は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により一時的に縮小しますが、2021年のGDP成長率は5.3%（※）と予想されており、政府の大規模インフラ投資計画「ビルド・ビルド・ビルド」等により、セメント需要は再び上昇に転じると見込まれます。

TCPI 社では今後も旺盛なセメント需要に応えるため、当社グループがこれまで培ってきた技術や経験を最大限に活かし、世界的にも最先端の技術を採用した最新鋭の生産ラインを導入します。総投資額として300億円程度を見込んでおり、セメント生産能力を年間約300万トンに増強します。また、将来、年間販売量500万トン、販売シェア10%以上を目指してまいります。

なお、新生産ラインはエネルギー効率が高く、従来に比べてエネルギー由来のCO₂排出原単位を10%以上削減することが可能となります。また新生産ラインでは強度発現性の高いクリンカを生産することが可能となり、セメント製造に使用するクリンカ比率を削減することでさらなるCO₂排出原単位の削減も期待できます。

当社グループでは「CSR目標2025」や「2050年を展望した温室効果ガス排出削減に係る長期ビジョン」に掲げる通り、温室効果ガス排出抑制を重要な課題と位置付けております。引き続きグループの総合力を発揮し、経済の発展のみならず環境負荷の低減に積極的に注力することで、環太平洋において社会に安全と安心を提供する企業集団を目指します。

※ 世界銀行『WORLD BANK EAST ASIA AND PACIFIC ECONOMIC UPDATE OCTOBER 2020』

<TCPI 社の概要>

名称	タイハイヨウセメントフィリピンズ株式会社
所在地	フィリピン共和国 セブ州 サンフェルナンド町
代表者の役職・氏名	取締役社長 市沢 和彦
事業内容	セメント製造及び販売
資本金	2,180百万フィリピンペソ
出資構成	当社 100%

<新設する生産ラインの概要>

セメント生産能力	約300万トン/年
稼働予定	2024年5月

<フィリピンのセメント需要>

(千トン)

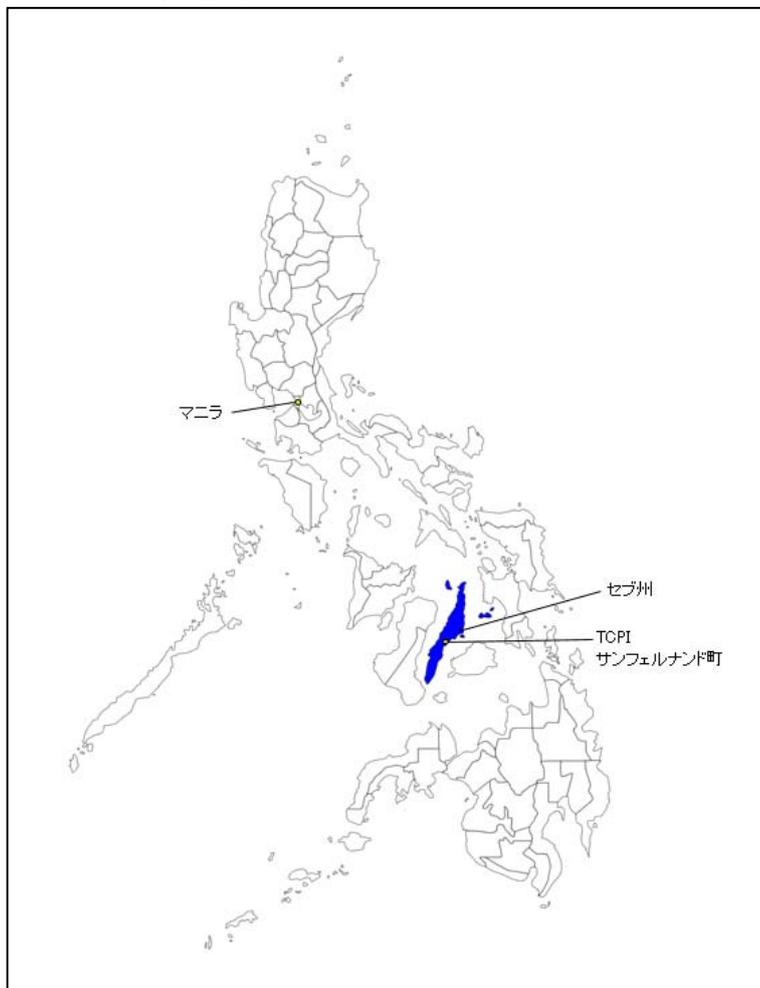
2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
24,360	25,962	28,000	31,000	32,000

出典

2015年～2016年：Cement Manufacturers' Association of the Philippines (CeMAP)

2017年～2019年：TCPI 社推定値

<TCPI 社の位置図>



<本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社

総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5801-0334

FAX. 03-5801-0344